

尾瀬国立公園記念国際シンポジウム 開催概要

H20.6.4

- 1 名 称 尾瀬国立公園記念国際シンポジウム
「みんなで支える新たな国立公園—「尾瀬国立公園」のめざすもの」
～地域との協調・協働による自然公園管理モデルの提案～

The Challenge of New OZE National Park
The new concept & practice of environmental governance
by the cooperation among the all stakeholders
- 2 趣 旨 昨年8月30日に、全国29番目の国立公園として「尾瀬国立公園」が誕生しました。これを記念して、海外の国立公園関係者・研究者を招き、国際的な視点から公園運営に成果を上げている事例を報告していただき、尾瀬が代表する「地域制国立公園」の更なる発展の可能性を探るとともに、地域との「協調と協働」により管理する国立公園を提言する。
- 3 日 時 平成20年7月20日（日） 午前10時～午後3時30分
- 4 会 場 小出郷文化会館 ゆきんこホール《小ホール》（402席）
（新潟県魚沼市干溝 1848 - 1 TEL 025-792-8811）
- 5 入 場 料 無料
- 6 主 催 尾瀬国立公園記念事業実行委員会
（福島県、群馬県、新潟県、檜枝岐村、片品村、魚沼市、東京電力株式会社、尾瀬林業株式会社、尾瀬山小屋組合、財団法人尾瀬保護財団）
- 7 共 催 環境省
- 8 協 力 横浜国立大学、南会津町
- 9 後 援 文化庁、林野庁（予定）
- 10 参 集 者 尾瀬関係者、自然保護関係者、国立公園関係者、行政機関、一般参加者 等

11 内 容 *敬称略

午 前 の 部	10:00	開会 あいさつ	司会 尾瀬国立公園記念事業実行委員会委員長 大澤 正明（群馬県知事）（予定）他 環境省
	10:15	基調報告	【テーマ】「尾瀬国立公園の意義と課題」 【講師】 ○海外招聘パネリスト ○関根 達郎 （環境省 関東地方環境事務所 統括自然保護企画官）
12:15～13:15		休 憩 （1時間）	
午 後 の 部	13:15	パネルディスカッション	【テーマ】『尾瀬国立公園』のめざすもの—地域や多様な関係者との協調・協働による国立公園管理の可能性と課題— 【コーディネーター】 ○加藤 峰夫 （横浜国立大学大学院教授・(財)尾瀬保護財団 評議員） 【パネリスト】 ○メイライ・クリスティン・リム Dr Mei-Lai Christine Lim （ニュージーランド国立ワイカト大学教授） ○張 堅鐘 ZHANG Jian Zhong （中国観光行政庁 政策法務部局長） ○ハーミッシュ・トレンチ Hamish Trench （イギリス ケアンゴーム国立公園管理局 遺産・土地管理代表） ○ルーディー・ダレッサンドロ Rudy D'Alessandro （アメリカ国立公園局 国際協力専門官） ○バンバン・スプリヤント Dr.Bambang Supriyanto （インドネシア グヌンハリムンサラク国立公園所長） ○藤田 道男（環境省 尾瀬自然保護官事務所 自然保護官） ○竹内 純子（東京電力株式会社 用地部水利・尾瀬グループ） ○笛田 浩行（財団法人 尾瀬保護財団 事務局長）
	15:30	閉会式	
		閉会	【計5時間30分】

〈サイドイベント〉

- 尾瀬国立公園記念事業実行委員会及び協賛各社による展示
- 尾瀬関連商品、周辺地域特産品等の販売

13 その他

シンポジウムの前2日間（7月18日（金）、19日（土））に、海外招聘パネリストの方に尾瀬国立公園の美しい自然や管理の仕組みについて知ってもらうため、尾瀬国立公園エコツアーズム エクスカーションを実施します。（現在のところ、一般の方対象ではありません。）